

自己骨髄細胞を用いた非代償性肝硬変症に対する再生療法

先進医療B 自己骨髄細胞投与療法

(非培養・全骨髄単核球・末梢静脈投与)



【手術室】
全身麻酔で約400mLの
自己骨髄液を採取

【再生・細胞治療センター】
骨髄単核球分画を分離濃縮

【一般病室】
骨髄採取の当日
本人へ末梢静脈
(点滴)投与

【成因】

C型肝硬変

【適応基準】

Child-Pughスコア7点以上
総ビリルビン3mg/dL未満
など

臨床研究(安全性評価 Phase I) 培養自己骨髄細胞肝動脈投与療法

(培養・骨髄間葉系幹細胞(MSC)・肝動脈投与)



【手術室】
局所/静脈麻酔で約60mLの
自己骨髄液を採取

【再生・細胞治療センター】
アイソレータで骨髄MSCを
拡大培養



【血管造影室】
本人へ細胞懸濁液を肝動
脈から肝臓へ直接投与

【成因】

成因は問わない

【適応基準】

Child-Pughスコア7点以上
総ビリルビン5mg/dL未満
など

【詳しい情報は山口大学医学部附属病院ホームページまで】

自己骨髄細胞投与療法：http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/news/impnews/test8_1.html

培養自己骨髄細胞肝動脈投与療法：http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/news/news/post_252.html